

【基本情報】

クラブ名	V-ファーレン長崎		
活動テーマ	海の環境問題（磯焼け）解決に、新人選手たちと本気で取り組む		
実施場所	なごみクラブハウス		
協働団体	V-ファーレン長崎	一般社団法人マリンハ ビタット壱岐	長崎県壱岐市
参加者	青木 俊輔	松本 天夢	田所 莉旺
活動期間	2025 年 10 月 7 日（火）		

【活動報告詳細】

■活動目的

- ・『平和』を根幹とするクラブの理念に基づき、そのメッセージを『地球との平和』という持続可能な未来を見据えたテーマへ進化させる。
 - ・社会課題の最前線に触れることで、人としての成長を促す。
- 自分の言葉で環境問題を語れる選手に成長し、長崎というホームタウンへの愛着を育む。

■活動内容

- ・環境問題に関する講義
- ・リーフボールへの栄養剤塗布作業（屋外）

■選手コメント

青木俊輔 選手

今回の講義を受けて、世の中にはさまざまな問題がある中で海に目を向けた課題への取り組みを学び、なかなか触れることのない分野で沢山の事を知ることができてとても勉強になりました。特に、磯焼けは海藻が繁茂していた海の近くで、急激に海藻が減少し、海藻がほとんど生えなくなる現象で多くの生き物が生息しにくくなる事や、水草がなくなり漁業が発展しないことへと繋がる大きな問題だと知ることができました。そこで、問題解決に向けての取り組みとしてのリーフボールを実際に見て、第一印象はとても小さいと感じて、これなら誰でも簡単に手に取って環境を守るために貢献しやすいと思いました。栄養をリーフボールに塗る作業はほんとに誰でもできると思いましたし、費用もそんなに掛からないので効率的だからこそより多くの場所や海で広めていけたらと思いました。2や6に今回、作業したリーフボールを海に沈めに行くそうなので機会があれば実際に現地にきたいと思いましたし、環境を守る活動はこれからも何かできたら 分にも地球にもいいなと思ったので意識して行動したいと思います。

松本天夢 選手

今回の研修で、リーフボールの役割や重要性を学ぶことができました。これまで何十年以上も問題とされている地球温暖化。それを良くするためにいくつもの対策がされてきているがなかなか解決にはつながっていない。そんな中で今回、海の自然（海藻）に焦点を当てて、地球の約7割を占める海で緑を増やす活動はとても興味深かったです。今までは自分たちの身近でできることが対策として多く挙げられてきていましたが、海に焦点がえられることはあまりありませんでした。リーフボールを取り入れることによって海を取り戻し、さらに地球温暖化の対策にもつながるすぐくメリットの多い取り組みだと思いました。これからもっと多くの人に知ってもらい、少しでも興味を持ってもらうことで現在の海の状況やこれからの地球温暖化防止へつながると考えました。

これらを通して改めて自分自身、地球温暖化の進行でこの先もっと住みづらい環境になってしまうことを知ることができたので、小さなことでも身近なことからできることに取り組んでいきたいと思います。

田所莉旺 選手

実際に海についての知識はほぼゼロでしたし、詳しく何かを説明できるわけではないですが、海が危険に晒されている事は理解できました。もちろんそれは自分たち人間が起こした問題もあり、海の中の生き物の関係性などから生まれたものもあります。

そんな中海藻が減ってきていることに着目し問題解決しようとしていることに自分も少し興味を持ちました。リーフボールとは、石のようなものに栄養を塗り海の中に沈めるもの。そうしてそのリーフボールが、海藻がなく砂漠化している海を助ける方法となっています。今回、自分たち自身でそれを塗らせていただきました。他人事にしていたましたが放っておけば自分たちの食などにも影響してくる大きな問題にこうして直面できたので、これからはこれをきっかけに少しでも還元していきたいと思いました。

■活動写真

